

ゴミ削減と循環型社会

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



1年 機械工学科

青木 優大 小出 寛流

テーマ設定の理由

- ・年々ゴミが増加しており、特にプラスチックゴミの量が増えてきている。ゴミの不法投棄により、プラスチックごみが海に流れ、海には大量のプラスチックが流れ込んでいると知ったため。
- ・またゴミ削減のためにどのような取り組みを行っているのか知りたかったため。



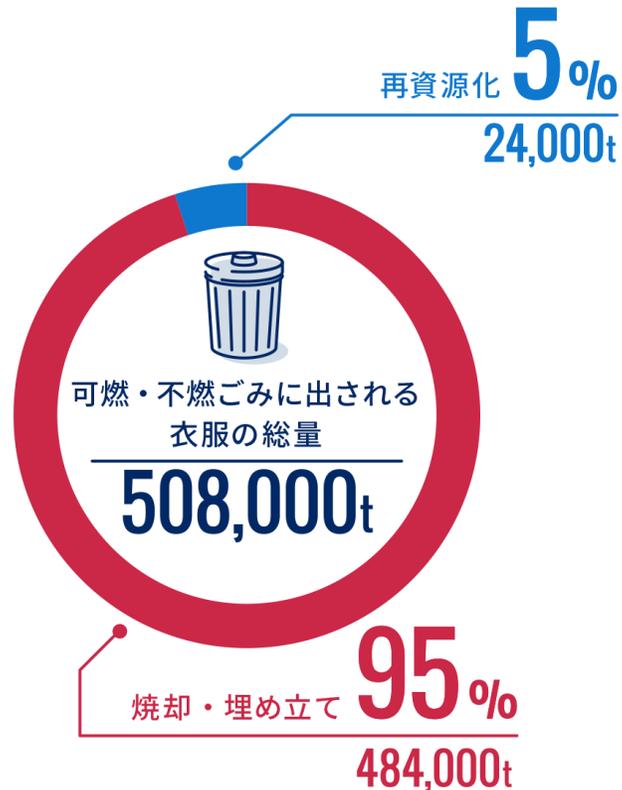
今の現状

- ・年々ごみが増え続けている。
- ・私たちが出しているゴミの量は約東京ドームの115杯だといわれている。つまり1日1人920グラムだしているという計算になる。（環境省）
- ・マイクロプラスチックが増えている。
⇒年間800万トン海に捨てられている

今の現状

・洋服ごみが増えている

ごみに出される衣服の総量と処理方法



1日あたりに焼却・埋め立てされる衣服の総量（平均）

1,300t/Day



大型トラック



130台分

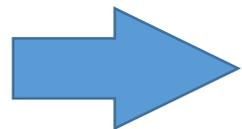
環境省「サステナブルファッション」より

問題点

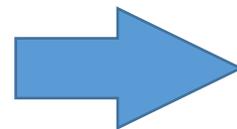
マイクロプラスチックが増えると...



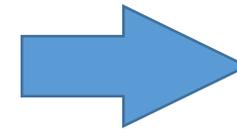
石油工場



プラスチック容器



海に放流



人体に摂取

1年間に... **7万4000個** 摂取してしまう！！

問題点

その他にも . . .

- ・ゴミ処理の時に発生する二酸化炭素が増える
⇒地球温暖化が進み⇒**海面上昇、異常気象**

- ・ゴミを処理しきれなくなってしまう。



今後の課題 取り組み

- ・ 洋服をリユース、リデュースする。

例えば・・・ 長野県立大学の学生がやっている古着屋



今後の課題 取り組み

・プラスチック製品を減らす。

例えば・・・



ラベルレスボトル



紙ストロー



イベント等における
リユース食器

SDGs実現のために ～10代からの提言～

日本全国統一したゴミ分別基準を作り日本全国で徳島県上勝町のようなゴミ分別をし、
ゴミ“0”の国を目指しましょう！！



上勝町資源分別表
 - 分ければ資源、混ぜればごみ -

① まだ使える物 ↓ くまのショップへ	② 生ごみ ↓ 自宅で堆肥化	③-1 アルミ缶 ↓ アルミ製品	③-2 スチール缶 ↓ 鉄製製品	③-3 スプレー缶 ↓ 鉄製製品	③-4 金属製缶 ↓ アルミ製缶 鉄製製品	③-5 雑金属 ↓ 本國製品
④-1 新聞チラシ ↓ 資源用紙	④-2 段ボール ↓ 段ボール	④-3 再生紙類 ↓ 再生紙	④-4 紙パック類 ↓ 再生紙	④-5 紙カップ ↓ 再生紙	④-6 紙パック類 ↓ 再生紙	④-7 硬い紙類 ↓ 段ボール
④-8 シュレッダー ↓ 再生紙	④-9 その他の紙類 ↓ 国形燃料	⑤-1 衣類カバン ↓ 衣類 ケース	⑤-2 その他の布類 ↓ 国形燃料	⑥-1 剃り刃 ↓ 刃物 水筒 ↓ 国形燃料	⑥-2 廃食用油 ↓ 食用油 ↓ 国形燃料	⑥-3 プラスチック容器 ↓ プラスチック ↓ 資源
⑦-2 その他 ↓ 国形燃料	⑦-3 白LED ↓ LED	⑦-4 LED製品 ↓ LED	⑦-5 ペットボトル ↓ 衣類	⑦-6 ファスナー ↓ ファスナー ↓ 資源	⑧-1 透明ビン ↓ 透明ビン	⑧-2 茶色ビン ↓ 茶色ビン
⑧-3 その他 ↓ 資源	⑧-4 リユース ↓ リユース	⑨-1 陶磁器類 ↓ 陶磁器類	⑨-2 雑水球 ↓ 水球	⑨-3 電球 ↓ 電球	⑨-4 乾電池 ↓ 乾電池	⑨-5 廃バッテリー ↓ 廃バッテリー
⑩-6 ライター ↓ ライター	⑩-1 粗大ゴミ ↓ 粗大ゴミ	⑩-2 粗大ゴミ ↓ 粗大ゴミ	⑩-3 粗大ゴミ ↓ 粗大ゴミ	⑩-4 粗大ゴミ ↓ 粗大ゴミ	⑪-1 その他 ↓ その他	⑪-2 その他 ↓ その他
⑫ その他 ↓ その他	⑬-1 廃タイヤ ↓ 廃タイヤ	⑬-2 その他 ↓ その他	日比ヶ谷ごみステーション 11:30～14:00 TEL:050-3438-8110 〒778-0202 徳島県上勝町日比ヶ谷			

*ビン・缶は必ずリサイクルマークを確認し、リサイクルマークが確認できず、汚れがひどい場合は洗浄して乾かしてからリサイクルマークが確認できるまでリサイクルしてください。
 *粗大ゴミについては平日も受け入れております。

考察・感想

- ・このSDGsの学習をして、現在の日本のプラスチック使用量やそのゴミはどこに行くのか知ることができてよかった。
- ・そのプラスチックの削減の取り組みについていろいろな企業が努力していることがわかった。（青木）

- ・日本はプラスチックの使用量が多い国だと思う。プラスチックを減らす活動をしてプラスチックごみを減らしていくべきだと思う。
- ・自分たちで分別するのはもちろんのこと国や企業も率先してごみを分別するシステムによりごみが減ることが分かった。（小出）